

とう きょう なま きょう  
東京生協ニュース



東京地区生コンクリート協同組合  
〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目2番5号  
電話番号 (03) 3271-2181  
発行責任者 吉 村 洋

≡ 協組の動き ≡

- 7日(火) 理事会 (No. 1098)
- 20日(月) 理事会 (No. 1099)
- 〃 通常総会 (第43回)
- 〃 理事会 (No. 1100)
  
- (6月)
- 10日(月) 理事会 (No. 1101)
- 24日(月) 理事会 (No. 1102)

## 2019年度新ワーキング立上げ

当協組では2019年度における課題解決のための活動として以下の3つの新ワーキングの設置と現行ワーキングへの新テーマの追加1件を3月の理事会で承認し、4月から活動を開始しました。

1. IT 推進ワーキング  
(委員長山崎理事)  
協組における IT 方針の作成を目的とします。
2. 働き方改革ワーキング  
(委員長松本副理事長)  
国が掲げる目標および実行計画の当協組レベルへの落とし込みを目的とし、具体的には、業務効率化、電子化及び週休2日制の3つの分科会に分

かれて検討します。

3. 女性活躍推進ワーキング  
(委員長田中副理事長)  
組合員工場における女性活躍のための施策作成とその実現のための公的支援制度等の調査検討を目的とします。
4. イメージアップ推進ワーキングへの新テーマ(委員長吉村専務理事)  
本ワーキングは当業界でも常態化している人手不足対策を目標に活動していますが、今年度は長期休暇時における高校生等向けのアルバイト体験制度の構築を新たなテーマとして設定します。

## 第20回生コン技術大会開催

### 組合員からも3件の研究論文発表実施

4月11、12日の両日、大手町の日経ホールで全国生コンクリート工業組合連合会及び同協同組合連合会主催の第20回生コン技術大会が全国から約760名の参加を得て開催されました。20回目に当たることから、大学教授による記念講演なども行われました。

今大会のキャッチフレーズである「生コンは今日も黙って国づくりのもと、一般研究論文28編、日常業務の改善事例2編、調査報告4編の計34編の発表がありました。

本大会は研究および実務の両面から参考となる発表も多く、当協組の組合員

も次のようなテーマで発表しました。

- ① 増粘剤を含有した高性能AE減水剤を用いて製造された高流動コンクリートの性状(株内山アドバンス)
- ② コンクリートの高強度化、多様化に対応する当工場の取組(株東京菱光コンクリート)
- ③ 静電容量型水分計による単位水量測定値に周辺環境が及ぼす影響(東京エスオーシー(株))

今後も多くの組合員が論文発表などにより積極的に参加するよう技術部会等を通じて呼びかけていきます。

## 希少苗字の業界人

前田谷 安文



皆様こんにちは、二回目の投稿が回ってきました。又又名前の由来です。

タイトルを「YAHOO! 希少苗字」で検索したら私の名前は、全国順位で「64948位」でした。現在は20人程ですべてが親戚です。尚、参考に全国最も少ない順位では「94531位」で名前は「勘解由小路」[かでのこうじ]さんとお読みするそうです。

名前を公表して大変申し訳ないですが、この間になんと希少な名字の方が3万種、組ではない世帯でもない、種類?といえるか驚かされます。

私の名前は、解説によると「岩手県南東部と北西部を除く地域である陸中発祥ともいわれるが、伝統的な名字である。近年遠野市などにみられる」と載っていた。最近では亡くなる方が多いので、もっと少ないかもしれない。親戚で安文という名前が居ないので、もしかして私は全国いや世界でただ一人しか無い姓名かな?と自己紹介の時に、自慢しています。

自慢にならないか!

出身地は先ほど解説に有ったように、昨年「おらおらでひとりいぐも」の第158回芥川賞受賞女性作家、若竹千佐子さんと同郷で岩手県遠野市生まれである。昨年1月、テレビの報道で初めて知った次第であるが、最近の有名人と同郷である。おらの町からも有名人が出たぞう。また、河童、座敷わらし等、民話のふるさととも云われているのだ。

この業界に入ったきっかけは、横浜市鶴見に有る浅野工学専門学校に入学したからである。早40年弱、校長先生も当時の同級生でお互い還暦を過ぎてしまった。今年の東京浅野会(OB)何人お見えになるだろうか?

全国的な人手不足の中、社内の卒業生もだんだん少なくなってきました。希少な業界人も、もうすぐリタイアする時期、希少な人材の確保にもう少し努力しようかと思っている次第である。

(第一コンクリート(株)取締役)

	(出荷数量)		(引合、成約、契残)	
	4月(実績)	5月(想定)	4月(実績)	前年実績比
大型	232,796 m <sup>3</sup>	210,000 m <sup>3</sup>	引合	243,450 m <sup>3</sup> 1616.5%
小型	34,839 m <sup>3</sup>	30,000 m <sup>3</sup>	成約	205,265 m <sup>3</sup> 1490.7%
計	267,635 m <sup>3</sup>	240,000 m <sup>3</sup>	契残	2,954,776 m <sup>3</sup> 58.5%

指先の 向こうに見える 家族の笑顔 ヨシ!!  
関東コンクリート株式会社

### 第43回通常総会

日時:5月20日(月)

12~14時

場所: 東京協組会議室

東京地区生コンクリート協同組合



第20回生コン技術大会

東京生協ニュース：まど

【改元特集】 ～ 創立からの活動を振り返り、「令和」における協組活動の一層の深化・充実を目指します ～

理事長	和暦	西暦	東京地区協組の動き	世の中の動き
山岸 次郎 (S52～57年)	S52	1977	共同販売事業開始、事務所移転(中央区銀座大野ビル)	新東京国際空港(現成田空港)開港(53年)
	S55	1980	生コン統一仕入価格実施 常駐監査制による出荷量の完全把握と厳正な割決実施	モスクワオリンピックボイコット(55年) 東北・上越新幹線開通(57年)
藤本 寛志 (S58～61年)	S61	1986	組合員の結束強化の環境整備(出荷調整規定、引合割決規定改訂)	東京ディズニーランド開園(58年) 男女雇用機会均等法成立、関越自動車道全線開通(60年)
友近 久一 (S62～H3.12)	S63	1988	営業委員会設置	地価異常高騰(銀座で1億円/坪突破)、日経平均株価最高値(38,915円)
	H元	1989	ブロック再編成による運営、全理事に各種委員会委嘱	消費税3%導入、東京ドーム完成(63年)、東京都庁完成(2年)
常慶 隆一 (H3.12～4年)	H3	1991	年間最大出荷量を記録(8,829千m3) 小型部会(17社)新規加入、官公需適格組合資格取得	環境問題クローズアップ・「地球にやさしい」キャッチフレーズ
浅野 久彌 (H5～18年)	H7	1995	広報紙「まど」創刊(最初の記事は新市況対策で「納入準備会」設置)	レインボーブリッジ開通、Jリーグ発足(5年)、就職氷河期突入(6年)
	H9	1997	災害時のアジテータ車の協力について東京消防庁と契約締結	地下鉄サリン事件、阪神淡路大震災(7年)
	H11	1999	「配合報告書作成手順」を再整理し周知徹底	日本列島総不況・山一証券破綻、消費税5%、アクアライン開通(9年)
	H12	2000	マル適マーク(全国生コン品質管理監査会議が認定)の使用開始	2000年問題(11年)
	H13	2001	新商流「登録販売店制度」に移行、手形取引から現金取引に 債権管理特別委員会設置、「理事会決定」による新割決方式採用	都営地下鉄大江戸線開通、小泉内閣発足、東京ディズニーシー開園(13年)
	H15	2003	アルカリ骨材反応抑制対策、排ガス規制の協組方針決定・実施 路上洗車対策推進	サッカー日韓W杯(14年) 六本木ヒルズオープン(15年)
森山 昭雄 (H19～21年)	H16	2004	単位水量測定に関する協組方針決定・実施 新潟県中越地震に対し義援金	営団地下鉄民営化で東京メトロ誕生、アテネ五輪(16年) 郵政民営化法成立、日本の人口が戦後初の減少(17年)
	H18	2006	JIS規格品試練り、出荷予定(直前)キャンセルの有料化	第一次安倍内閣発足、羽田空港D滑走路着工(18年)
込山 久夫 (H21～22年)	H19	2007	東京都の特記仕様書に「マル適マーク取得工場からの選定」明記 創立30周年。記念事業として東京都へ寄付。	団塊世代の大量定年退職、消えた年金(19年) リーマン・ショック(20年)
	H21	2009	「コンクリートから人へ」反論キャンペーン 品質検証チェックシステム始動(外部機関による検査)	鳩山政権発足、裁判員裁判制度スタート(21年)
	H22	2010	工場集約化規程作成、商品瑕疵保証基金創設	中国GDPが日本超え(22年)
吉野 友康 (H23～28年)	H23	2011	新登録販売店制度により登録販売店18社と契約 震災対策WG設置、東日本大震災災害義援金	東日本大震災(23年)
	H24	2012	新々登録販売店制度により登録販売店38社と契約 協組事務所移転(中央区日本橋西鉄日本橋ビル(現「毎日日本橋ビル」))	東京スカイツリー完成(24年) 第二次安倍内閣発足(アベノミクス)(24年)
	H26	2014	戻りコン有償化制度導入 特需対応WG設置	2020年オリンピック・パラリンピック東京開催決定(25年) 消費税8%(26年)
	H27	2015	東京生コンクリート協同組合連合会設立 登販店基本契約に特約条項新設(一定期間経過後の価格見直し)	北陸新幹線開通(27年)
斎藤 昇一 (H29年～)	H28	2016	熊本地震に対し義援金	豊洲市場完成、新国立競技場着工(28年)
	H29	2017	イメージアップ推進委員会活動(なまりんちゃんPR等) 創立40周年。記念事業として東京五輪・パラリンピック準備局へ寄付	インスタ映え、プレミアムフライデー、JR山手線新駅着工(29年) G7伊勢志摩サミット(29年)
	H30	2018	首都圏直下型地震に備えBCP(事業継続計画)策定 西日本豪雨に対し義援金 協組キャッチコピー制定(コンクリートで夢を形に!!)	平昌五輪(30年) 築地市場が豊洲市場へ移転(30年)
	H31	2019	働き方改革他各種ワーキング発足	天皇陛下退位、皇太子即位、令和に改元

わが社の  
イメージアップ

株式会社 多摩



当社は現在、川崎工場と成田工場の2工場を操業しております。昭和36年3月の多摩生コンクリート有限会社の誕生を起点にすると平成最後の今年3月、58歳になりました。2年後には還暦を迎えることになりまます。この半世紀を超える年月で醸成された当社のイメージはどのようなものでしょうか。工場が立地する地域の皆様の持つイメージ、生コンを使用される建設会社様の持つイメージ、生コンの流通・原材料供給に関わる皆様の持つイメージ、当社で働く従業員・外注業者・協力業者の皆様の抱くイメージとは。外観、地域貢献、技術力、供給力、協組運営貢献、職場の雰囲気等々。イメージとはこれらステークホルダーの皆様一人一人が当社に或る何かを期待し、その期待に対する当社の対応の積み重ねによって形成されるものだと思います。さて、当社のイメージアップですが、当社も求人については苦勞の連続です。そこで今回は当社を知らない一般の方々に当社を知っていただくための方法について考えたいと思います。昨今は雑誌、小冊子等の紙媒体よりもパソコン、スマートフォン等を用いてインターネットから情報を入手することが日常的になりましたので、今年4月、当社は公式ウェブサイトを開設いたしました。短い準備期間で立ち上げまし

たので未熟なところもありますが、これから徐々に内容を充実させていきたいと考えております。検索エンジンに「株式会社多摩」と入力すると・・・当初は検索結果の上位に現れないこともありましたが(\*.\*)・・・最近は検索結果の上位に現れるようになってきました。ところがここで大きな壁にぶち当たることに気がきました。一般の方々が検索エンジンに「株式会社多摩」と入力してくれるでしょうか。答えは「否」です。何かきっかけがあって当社名を見ることがない限り、当社を検索してはくれないでしょう。ではどうすれば一般の方々に知っていただくことができるようになるのでしょうか。実は現在もその答えを探している最中なのです。この拙文をご覧いただいた方々の中で答えやヒントをお持ちの方は是非ご一報いただければと思います。これは！というご教示を欲しております(薄謝進呈!(^^)!)。5年後、10年後、20年後も生コン業界が発展し、当社もその端くれとしてついて行くために、社会貢献を基本に据えて「21世紀の産業と社会基盤を支え続けていく生コンクリート会社」として生き残って行きたいと念願しております。これからも株式会社多摩をどうぞ宜しくお願いいたします。